



# く せ ん 薫 泉

## 学校の目標

社会の変化に自ら対応でき、豊かな心をもち、表現力豊かな国際人を目指し、次のような子どもを育成する。

・よく考え、進んで学習する子ども  
・いつも元気で、じょうぶな子ども  
・こころ豊かで、やさしい子ども

## 本格的な新年のスタート

### 旧暦の正月から始めよう！

副校長 出口 芳子

新年が明けてからあつという間に一か月が過ぎようとしています。こどもたちは、新年の目標を立て、三学期のスタートを切りました。

さて、二月は「逃げる」と言われ、最も短い月ですが、二月と言えば節分があります。節分は「季節を分ける」という意味があり、暦上の春である「立春」の直前の日が節分に指定されます。

立春とは「二十四節季」の一つで「春のはじまり」をあらわします。二十四節季とは「春」「夏」「秋」「冬」の四季のうち、各季節を六つの節目に分けたものです。ほかに「立夏」「立秋」「立冬」もあるため、厳密にいうと節分は年に四回あることとなります。

四つの節分の中でも、立春前の節分が特に重んじられるのは、昔の旧暦と季節の考え方が関係しています。一月を「新春」というように、昔は春が新しい年の始まりとされてきました。旧暦の一月は現在の二月に当たり、新しい年へと切り替わる二月の節分が大切であると考えられたようです。

今年の節分は二月二日です。令和七年の立春は二月三日であるため、その前日の二月二日が節分になります。通常は二月三日が多いですが、数年に一度ずれることがあり、今年はその特例に該当します。（地球の公転周期は三百六十五日ぴったりではないため、暦年とのズレが存在します。このズレを補正するため、うるう年や節分の日付の調

整が行われます。こうした変動は暦法を精密に保つための仕組みです。）

立春は、冬から春へと季節が変わる日となります。古来より、季節の変わり目にはいつもと違うことが起こったり、予期せぬ出来事に見舞われたりしやすいとされてきました。

そこで、立春となる前日に悪いものを追い払い、幸運が舞い込むようにと願って節分の行事が行われるようになりました。節分の始まりは、平安時代や室町時代など諸説ありますが、日本に古くからある伝統的な行事の一つとなっています。

旧暦の立春が新年であったため、節分は、現在の大晦日のような日であったといわれています。つまり、今年の二月二日は大晦日、二月三日はお正月と、改めて新年のスタートを切る日になります。もう一度スタートをし直すチャンスでもあります。

現代社会では、新暦の一月が新年ではありますが、「〇〇過ぎ」、「〇〇不足」、「夜更かし」など、現代人ならではの鬼を追い払い、福を呼び込むことで、己を戒め、鬼を祓い、いよいよ本調子に動き出すのがこの二月です。今年の節分には、一年の無病息災を願って豆をまいたり、恵方巻や鯛を食べたりする風習を重んじつつ、新年の誓いを新たにし、旧暦のお正月からスタートを切ることにしてもよいのではないのでしょうか。

学校生活においても、こどもたちは、進級に向けて、本格的なラストスパートを開始します。

## お知らせ

◎二月一日（土）、二日（日）の二日間は、高圧受電設備改修工事のため、学校敷地内は停電となります。

◎二月二十三日（日）に、カムカム新蒲田において、第十五回かまにしコンサートが開催され、矢口小学校合唱団の児童が練習の成果を発表します。

## 一月の生活目標

## 生活指導部

### 『寒さに負けない体づくりをしよう』

冬は寒さが厳しく、体調を崩しやすい季節です。しかし、寒さに負けず、元気に過ごすためには、日々の生活習慣を見直すことが大切です。三学期の生活リズムチェック週間が終わりでしたが、一年間の取り組みを通して、規則正しい生活リズムを身に付けることはできたでしょうか。以下のポイントを意識して、寒さに負けない健康な体づくりを心がけて毎日をたのしく過ごしてほしいです。

- ① 十分な睡眠をとろう  
しっかりと睡眠をとることで、免疫力が高まり、風邪などを防ぐことができます。毎晩規則正しい時間に寝るよう心がけましょう。
- ② バランスのとれた食事を心がけよう  
主食・主菜・副菜などバランスのとれた食事は、免疫力を高めることができます。
- ③ 手洗い・うがいをしよう  
外から帰ってきたときは手洗い・うがいをしっかりと行うことが大切です。いつでも手を洗えるよう、ハンカチを身に付けましょう。

## 特別の教科道徳について

### 特別の教科道徳担当

本校では、先週、一月二十五日（土）、道徳授業地区公開講座として、道徳の授業をしました。

小学校では道徳が特別の教科として制定され、週に一時間道徳の学習をしています。道徳の学習は毎週、いろいろな価値項目について考えることで、児童の心の中にある多様な考え方や生き方を学ぶ学習でもあります。また、道徳の学習で学んだことは、今後の学習や学校生活、友達との関わり方などにもつながっていきます。

矢口小学校の児童が一人一人、違う考えをもつて、道徳の学習を通して自分の考えを深めたり、友達の考えを聞いて、自分の考えが変化したりしていくことで心が育っていく時間です。先週の道徳授業地区公開講座の日には、一年生から六年生までが発達段階に合わせた教材を活用して、生命の尊さについて考える授業をしました。